



# 道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 596

令和元年7月号

発行所 全国道路利用者会議  
〒100-0013  
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1  
尚友会館6階  
電話 03-3501-5611(代)  
発行人 小林 勉  
定価 20円(会員の購読料は会費に含む)

8月10日は「道の日」

今回追加選定する道の駅/3箇所

駅名	道の駅所在地	最寄り道路・IC名
木更津うまきたの里	千葉県木更津市	C4 圏央道・木更津東IC
みまの里	徳島県美馬市	E32 徳島道・美馬IC
人吉	熊本県人吉市	E3 九州道・人吉球磨スマートIC

[参考]現在実験中の道の駅/20箇所

駅名	道の駅所在地	最寄り道路・IC名
おりつめ	岩手県九戸郡九戸村	E4A 八戸線・九戸IC
村田	宮城県柴田郡村田町	E4 東北道・村田IC
猪苗代	福島県耶麻郡猪苗代町	E49 磐越道・猪苗代磐梯高原IC
ごか	茨城県猿島郡五霞町	C4 圏央道・五霞IC
玉村宿	群馬県佐波郡玉村町	E17 関越道・高崎玉村スマートIC
保田小学校	千葉県安房郡鋸南町	E14 富津館山道・鋸南保田IC
しらね	山梨県南アルプス市	E52 中部横断道・白根IC
親不知ピアパーク	新潟県糸魚川市	E8 北陸道・親不知IC
もつくる新城	愛知県新城市	E1A 新東名・新城IC
若狭おばま	福井県小浜市	E27 舞鶴若狭道・小浜IC
アグリ郷栗東	滋賀県栗東市	E1 名神高速・栗東IC
丹波おばあちゃんの里	兵庫県丹波市	E27 舞鶴若狭道・春日IC
奥大山	鳥取県日野郡江府町	E73 米子道・江府IC
舞ロードIC千代田	広島県山県郡北広島町	E2A 中国道・千代田IC
来夢とごうち	広島県山県郡安芸太田町	E2A 中国道・戸河内IC
むいかいち温泉	島根県鹿足郡吉賀町	E2A 中国道・六日市IC
ソレーネ周南	山口県周南市	E2 山陽道・徳山西IC
霧の森	愛媛県四国中央市	E32 高知道・新宮IC
彼岸の荘	長崎県東彼杵郡東彼杵町	E34 長崎道・東そのぎIC
えびの	宮崎県えびの市	E3 九州道・えびのIC

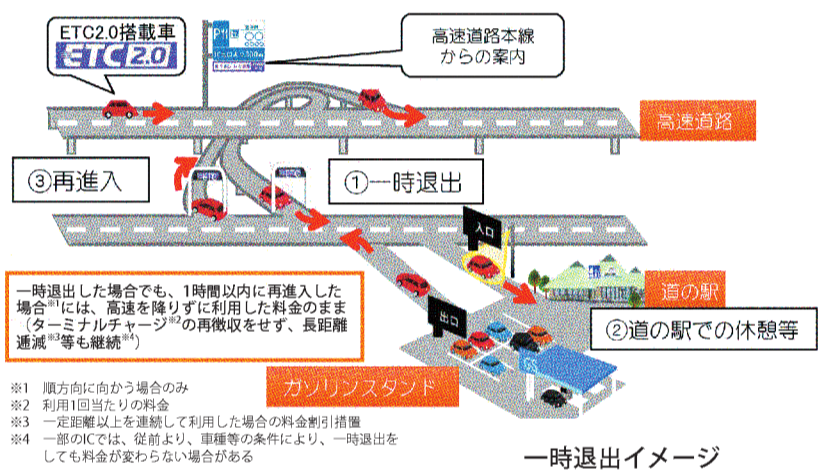
## 高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」

高速道路において、休憩施設同士の間隔が概ね25キロ以上離れている空白区間が約100区間存在しており、国土交通省では、この空白区間を平減することを目指し、現在全国20箇所の道の駅を対象に、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」を実施している。

今回、1年間の利用状況をまとめることにも、2017年9月以降開駅の道の駅3箇所について新たに追加し、引き続き検証を進めるとしている。

今回、1年間の利用状況をまとめることにも、2017年9月以降開駅の道の駅3箇所について新たに追加し、引き続き検証を進めるとしている。

今回、1年間の利用状況をまとめることにも、2017年9月以降開駅の道の駅3箇所について新たに追加し、引き続き検証を進めるとしている。



- ※1 順方向に向かう場合のみ
- ※2 利用1回当たりの料金
- ※3 一定距離以上を連続して利用した場合の料金割引措置
- ※4 一部のICでは、従前より、車種等の条件により、一時退出をしても料金が変わらない場合がある

国土交通省は、重要物流道路における国際海上コンテナ車(40t背高)特殊車両通行許可不要区間の詳細についてまとめた。運用開始日については、各道路管理者における指定の後、令和元年7月31日を予定している。

【概要】平成30年3月に「重要物流道路制度」が創設され、重要物流道路に係る特別の構造基準が規定されたことにより、国際海上コンテナを運搬するセミトレーラ連結車が特別の許可なく道路を通行することができるよう環境が整備しつつある。

このため、道路管理者が道路構造等の観点から支障がないと認めて指定した区

### 特殊車両通行許可不要区間の運用開始

#### 国際海上コンテナ車による輸送の機動性強化へ

特殊車両通行許可不要区間 一般的制限値	
総重量 (t)	44 ※1
車高 (m)	4.1 ※2
車長 (m)	16.5

※1 車両の車軸の数及び軸距に応じた制限あり。このほか、軸重(11.5t)、軸荷重(5.75t)の制限あり。  
※2 現行の規定(高さ指定道路)により指定

【要件】①国際海上コンテナを運搬するものであることを証明する書類の携行  
②ETC2.0車載器の搭載及び登録等  
【特殊車両通行許可不要区間の確認方法】PRサイトにおいて、許可不要区間をデジタルマップで公表予定

### 常陸太田市で自動運転サービスの長期実証実験を開始

国土交通省では、内閣府SIP(内閣府戦略的イノベーション創造プログラム)の一環として、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流確保のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの短期の実証実験を実施している。

このうち、茨城県常陸太田市においては、道の駅などを有する高倉地域交流センターを拠点として、令和元年6月23日(日)から長期間(29日間)の実証実験を開始し、自動運転に対応した道路空間のあり方や、路線バスと連携した運行管理・予約システム等の検証を行っている。

今回、高齢化が特に顕著である山間部の高倉地区において、地域の公民館機能などを有する高倉地域交流センターを拠点として、令和元年6月23日(日)から長期間(29日間)の実証実験を開始し、自動運転に対応した道路空間のあり方や、路線バスと連携した運行管理・予約システム等の検証を行っている。

**令和元年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰**

員として道路整備促進に貢献、建設事業の発展に寄与されたことが評価された。

◇油野 和一郎(あぶらのわいしろう)・昭和24年6月23日生(70歳)・全国道路利用者会議理事・石川県道路整備促進協会会長・かほく市長



令和元年度「道路ふれあい月間」推進標語

『この道は世界をつなぐ』

世界をつなぐ

“道路総合システムサービス”企業

**NICHIREKI**

**ニチレキ株式会社**

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL 03(3265)1511代表